

北見武道通信

ニュースレター

社会教育施設整備推進室(佐々木政幸室長)と武道振興協議会(武藤弘司会長)三役と報告会議を開催

・6月7日(火)北見市武道振興協議会事務局において武道館建設事業基本構想(案)の報告会が行なわれました。東稜運動公園内のアスケットナクス北見体育センター(道立北見体育センター)に隣接する広場に武道館の建設場所が決定したことで、今後の見通しが立つ動きになってきました。武道館建設事業基本構想(案)は、これまで武道8団体が長年にわたり要望してきたことが十分盛り込まれるものであり、北見市民にとっても喜ばれる活用しやすいものでした。また、北見市教育委員会社会教育部社会教育施設整備推進室からは「実施計画の通り準備を進めていく」との報告がなされました。



— 柔道で強くなりたい —

・北見市東相内中学校1年生 池田理人(いけだ みちと)くん。今年の6月に北見練心会少年部に入会しました。池田くんは「学校のクラブ活動の中に、やりたかった武道(柔道・剣道)が無かったので、インターネットで調べ、北見警察本部に電話をし、そこで、柔道を紹介してもらいました。」と、はきはきと話してくれました。理人くんは「柔道を見学し、又、実際にやってみてとても楽しいです。」と目を輝かせていました。池田君が通う北見市東相内中学校は、平成23年度10月より、体育柔道授業に、地域と連携した外部指導者を活用する【中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校】として注目される学校です。北見練心会会長(外部指導者予定)は「全国実施に先立ち、今年の10月から新に市内2箇所では必修化が実施されます。平成24年度の全国武道必修化完全実施に向け、安全面の観点からも多くの課題を抱える状況で、池田理人くんとの出会いは、何か運命的とも感じています。」と語ってくれました。(山本)



武道必修化に向け打ち合わせ

【北見市教育委員会】・学校教育指導室 大友信也主幹と北見市武道振興協会 佐藤寿春理事長が6月9日、今後の中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校担当教諭との外部指導者合同研修会を前に事前打ち合わせが行われました。「安全指導や伝統文化の継承・施設整備の拡充や楽しめる授業の進め方」などの課題を明確にし、担当教諭と外部指導者が、それぞれの役割分担を認識し、限られた時間で生徒に武道の楽しさと特性を理解してもらえよう熱心な議論がなされました。合同研修会は6月20日(月)にビデオ等を使用して行われます。

